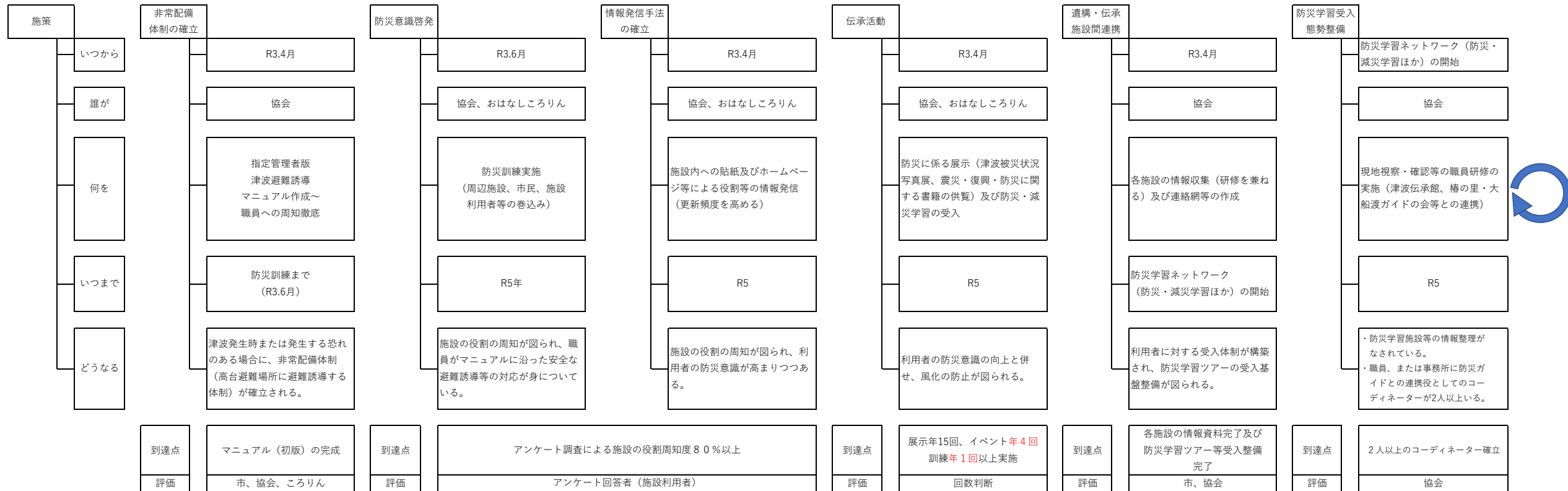


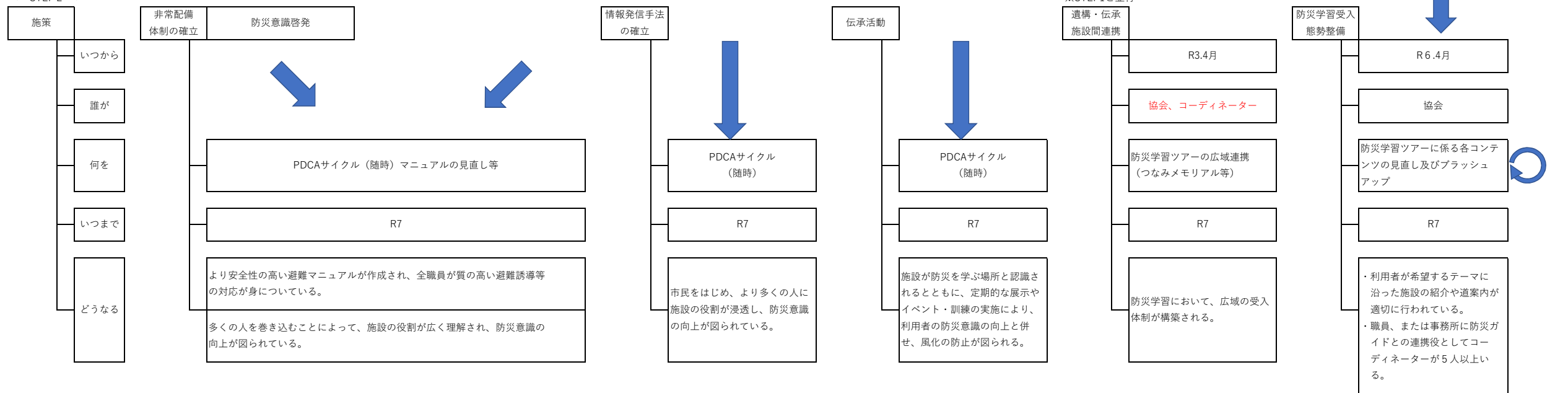
[ 防災意識啓発の発信及び防災学習ツアー等の受入拠点施設 ]

- 概念
  - ・災害の教訓や防災を学ぶ交流拠点づくり
- 中長期将来像
  - ・質の高い避難誘導体制が確立されている安全性の高い施設。
  - ・利用者が施設の役割を学ぶことのできる防災学習施設。
  - ・職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。
  - ・防災学習に向けた情報収集、整理がなされ職員等で共有化が図られ、ツアーメニューを提供できる。
- 実施目標
  - ・質の高い避難マニュアルの完成（より現実性のある避難マニュアル）
  - ・施設の役割の認知度80%以上（毎年行うアンケート調査で評価）
  - ・おおふなぼーと発信の防災学習：展示15回、イベント・訓練5回、ほか防災・減災学習受入等（随時）
  - ・ひととおり防災ガイドができる職員の人数：5人
- ターゲット
  - ・おおふなぼーと従事者
  - ・施設利用者及び市民
  - ・震災学習旅行者及び観光客

< STEP 1 >



< STEP 2 >



おおふなぼーとの戦略ロードマップ

[ 観光情報の発信施設 / まちあるきの拠点案内施設 ]

○ 概念

大船渡の魅力・文化を伝える観光拠点づくり

○ 中長期将来像

「観光情報の発信施設」

- ・施設の防災・観光・交流機能の位置や役割が広く認知され、観光案内所として認識できる状態となる。
- ・各種サイトに観光案内所として掲載されている。
- ・協会HPやSNSと連動し、大船渡駅周辺を中心に、市内の観光情報を網羅しているサイトとして確立されている。

「まちあるきの拠点案内施設」

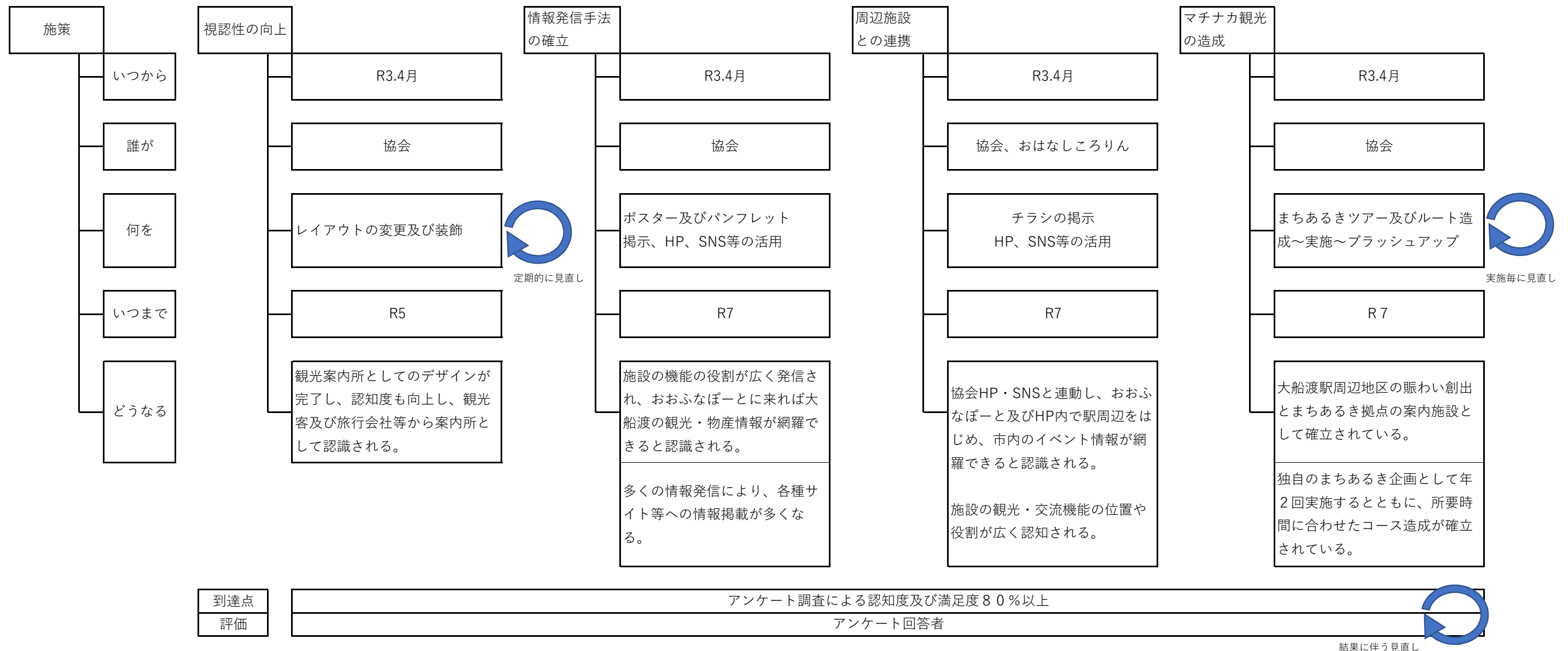
- ・指定管理者の企画によるおおふなぼーとを起点とした「まちあるきコース」が確立され、まちの賑わい創出に寄与している。

○ 実施目標

- ・観光案内所として視認できる（看板・装飾を完了している）。

○ ターゲット

- ・観光客及び市民



おおふなぼーとの戦略ロードマップ

[ 関係者との用務連携体制の濃い施設 ]

○ 概念

幅広いネットワークを活用した用務連携体制の構築

○ 中長期将来像

・市内外の防災、商業、観光に関連する多くの団体（協議会）等と情報交換や業務連携ができています。

○ 実施目標

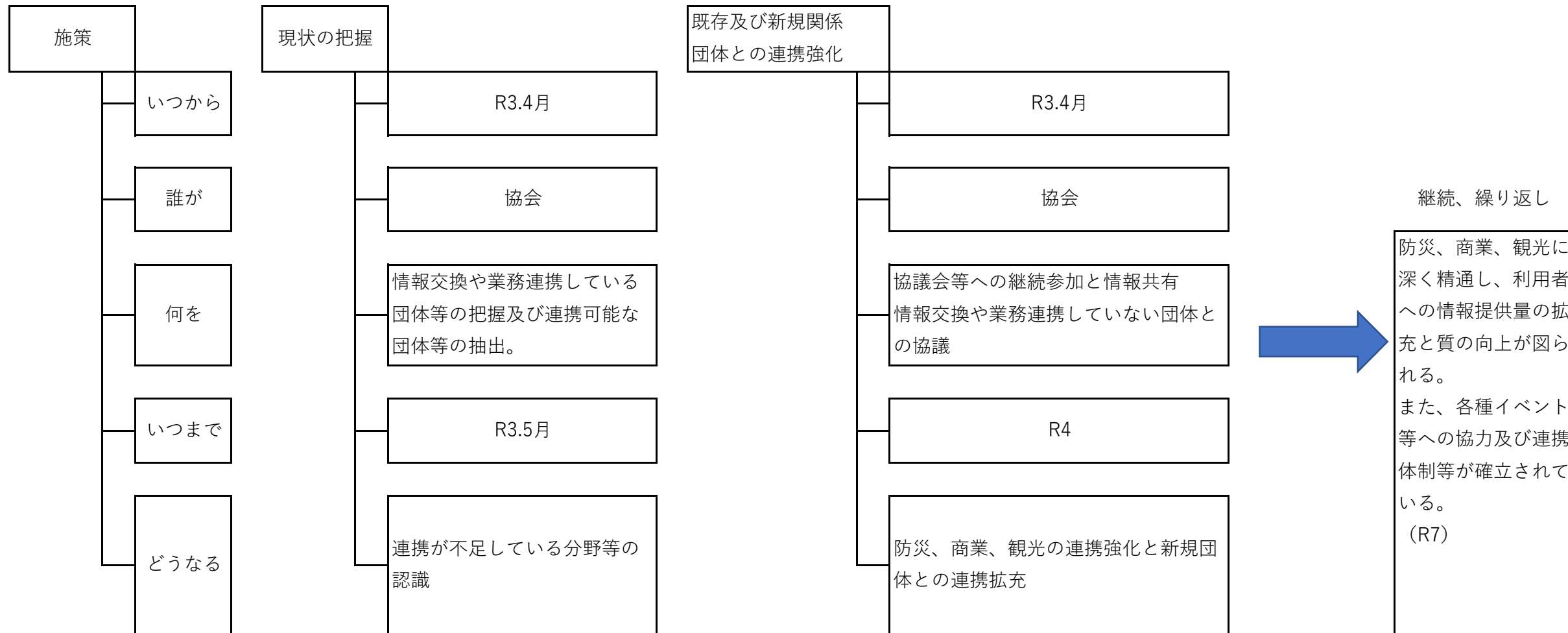
- ・情報提供量の拡充と発信する情報の質の向上。
- ・イベント等における協力及び連携体制の確立。

○ ターゲット

市内外の防災、商業、観光に関連する多くの団体（協議会）等

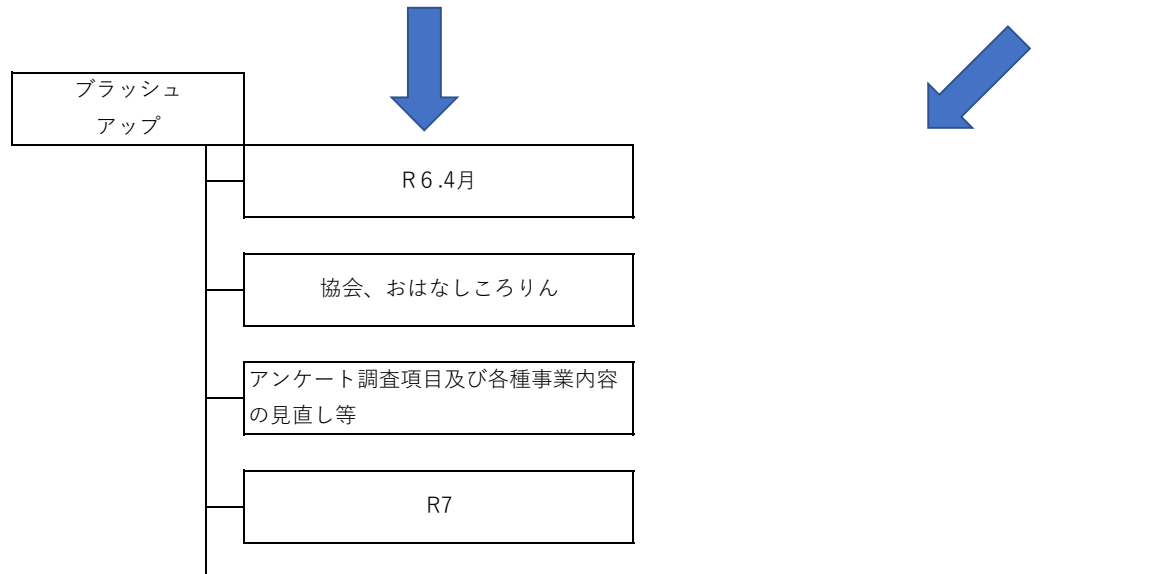
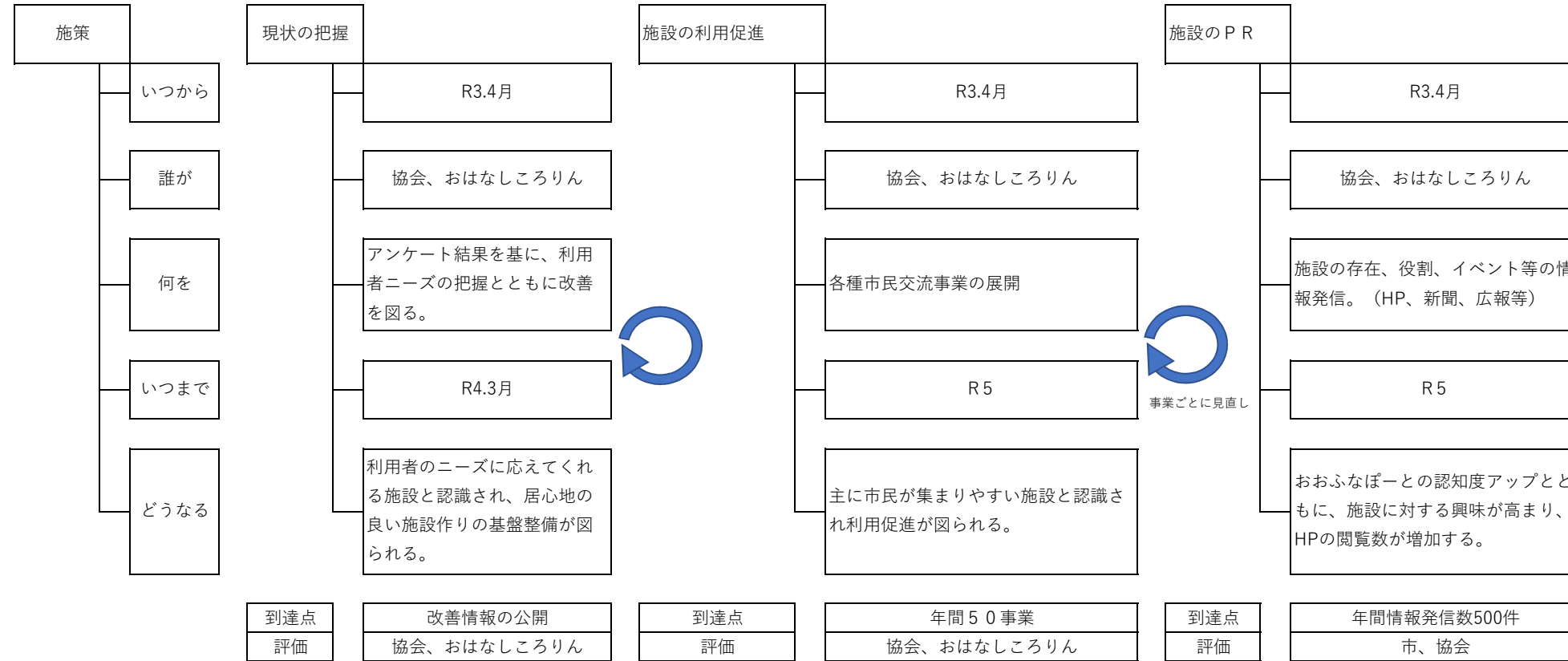
※ R2年度までの実績

- ・（一社）大船渡地域戦略
- ・みなとオアシスおおふなと運営協議会      ・大船渡町内商店連絡会議
- ・その他、市及び会議所等が事務局を有する各実行委員会



おおふなぼーとの戦略ロードマップ

- [ 市民交流や地域づくりの場の創出施設 ]
- 概念  
多世代の交流・憩い、活動、情報発信の場の創出
  - 中長期将来像  
・市民交流や地域づくりの場の機会が増える。
  - 実施目標  
・おおふなぼーとの貸館稼働率50%（年間）
  - ターゲット  
全ての利用者



・居心地が良く、市民が集まりやすい施設となっている。(アンケート調査による満足度80%以上)  
 ・おおふなぼーとの認知度が向上し、貸館稼働率が50%を超える。  
 ・質の高い情報発信が行われ、ホームページPV数が年間25,000件を超える。